

緊急時マニュアル

「人命優先・避難誘導 安全確保」

- 傷病者発見の場合（本部へ連絡、119番救急要請※個人を指定して指示）
 - ・二次災害防止、安全確保
 - ・具体的な指示で協力要請
 - ・胸骨圧迫 ※人工呼吸しない
 - ・反応、意識、呼吸の確認
 - ・AED要請 ※個人を指定して指示
 - ・体温保持 ・協力者に救急隊誘導要請※個人を指定して指示
 - 不審者の場合（本部へ連絡、警察へ通報）
 - ・意図的声掛けや積極的挨拶
 - ・所持品、行動観察
 - ・丁寧な協力依頼
 - ・近隣役員へ連絡
 - 不審物（飛行物）の発見の場合（本部へ連絡、警察へ通報）
 - ・近寄らない、触らない、動かさない
 - ・安全確保、周囲の人を他へ誘導
 - 地震発生時の場合（本部へ連絡）
 - ・二次災害防止、安全確保
 - ・避難場所の確認をしておく。
 - ・大会総務からの指示に従い観客、競技者の誘導
 - ・選手は一端走路員の指示で近くの施設か車へ待避
 - 熊対策マニュアル2024追加（本部へ連絡、警察へ通報）
 - 未然防止
 - ・熊対策マニュアルの確認
 - ・先行車による音楽やアナウンス（競技開始前とスタート先行時やレース途中）
 - ・避難先（車、バス、家屋）等の配置と確認。
 - ・現場警察官、ガードマンとの顔合わせ。
 - ・現地避難シュミレーションを行う。
 - 事案発生時
 - ①・熊目撃
 - ②・110番または近くの警察官に連絡（警察官や大会本部からの連絡）
 - ③・選手、観戦者を誘導（車、待機バス、民家へ避難誘導）
 - ④・大会本部（総務： ）へ連絡
 - ⑤・警察官や大会本部の指示に従う
- ※ 小松駅伝コースでは、退避場所として、コース途中にマイクロバスやワゴン車を配置しています。また、審判員の自家用車や観戦応援者の乗用車も活用してください。

傷病者発見時フロー

